

第一回臨時会

(2月16日)

専決処分

除雪費2700万円を増額したものです。

一般会計補正予算

除雪費3200万円を増額しました。

条例の制定

標茶町の設置に係る一般廃棄物処理施設の生活環境影響調査結果の縦覧等の手続きに関する条例が可決されました。

平成27年4月から始まる「子ども・子育て支援新制度」では乳幼児期の教育・保育の総合的な提供や、待機児童対策の推進、地域での子育て支援の充実を図る事となっており、その中で、施設や事業の設備・運営に関する基準について、国の定める基準を踏まえ、自治体ごとに条例を定めること

となりました。また、子ども・子育て支援制度では、保護者の申請を受けた市町村が客観的基準に基づき、保育の必要性を認定した上で、保護者が利用したい教育・保育施設に申し込みを行う仕組みとなったことから、それらの基準を定めるため、次の3件の条例を制定しようとするものです。

・標茶町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

・標茶町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

・標茶町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

審査を厚生文教委員会に付託しました。

これまで、介護保険サービスに関する人員や設備、運営等に関する基準は、厚生労働省令において全国一律で定められていまし

たが、第3次一括法により「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」において介護保険法等の改正がなされ、「指定居宅介護予防支援等の事業の人員及び運営に関する基準」及び「法第105条の4第4項の厚生労働省令で定める基準」(地域包括支援センター)の包括的支援事業を実施するために必要なものに関する基準)についても市町村の条例で定めることとなったため次の2件の条例を制定しようとするものです。

・標茶町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに標茶町指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例

・標茶町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準等に関する条例

審査を厚生文教委員会に付託しました。

総括質疑

深見 迪議員

問 特別養護老人ホーム「やすらぎ園」およびデイサービスの今年度の赤字見込み額はいくらか。主に何が赤字の原因か。

答 デイサービスで2、100万円、やすらぎ園で6、500万円を見込んでいます。主に、長期入院者が増えていることが原因だ。

問 釧路での標茶フェアは、評判がとてもよかったが、出店料が高い。町で補助するべきではないか。



答 困っている部分は双方で協議するが、若い人達が元気に活躍できるようにステージを創っていく。

問 教職員の質の向上についてどのような取り組みを行っているか。

答 研修会等、各学校で行っている。

長尾 式宮 議員

問 トレーニングセンター室の機材の更新と利便性の改善を。

答 コードレスバイクを発注している。施設の利用のしづさは承知していて検討の余地はある。

問 柔道授業に於いての生徒の習熟度と指導環境は。

答 有段者の教師とスポーツ指導員で授業を行っていて怪我はなかった。

問 児童の家庭学習に対する取り組みの進捗状況は。

答 本町の取り組みで小学校は定着してきている。中学生も各学級の呼びかけが効果を上げている。

松下 哲也 議員

問 農業研修センターの積極的な研修生の募集と運営体制の充実を図るべき。



答 担い手対策協議会の取り組みの中で専任のコーディネーターを置く予定である。

林 博 議員

問 子育て支援で「子育て応援給付金」として現金支給としたのはなぜか。
保育料金の値下げ等、ほかの方法は考えられなかったのか。

答 経済的支援を望む声が多かった。子育てに多様な使い方ができることから現金支給とした。

問 畜産クラスター事業の状況は。関係機関との連携を強め、事業採択に向けて努力を。

答 26年度において機械リースは一部予算が付いたが施設関係では釧路管内すべて採択されなかった。

問 災害などの停電時に点灯する非常用電灯を高齢者世帯に設置を検討できないか。

答 基本、個人的なものはいじっている。

菊地 誠道 議員

問 中学生までの医療費助成については、商品券ではなく現金支給にすべきでは。

答 現物支給とすると医療費が伸びるという傾向がある。また、ペナルティーが掛るので当面この形で行きたい。

問 暴風雪時の牛乳集荷車は、緊急車両並みの対応を検討してはどうか。



答 安全を確保したうえで、集乳路線の確保に最大限努力していただいている。

問 育成牧場の暴風雪の対応はどうであったのか。

答 職員の人命尊重を最優先しながら自力で除雪などを対応した。

問 長時間停電における対策として発電機の導入を検討すべきでは。

答 前回の国の事業は農家にとっては、対応が難しい事業だったと考えられる。

本多 耕平 議員

問 新採用の町職員に、基幹産業である酪農体験実習を実施してはどうか。

答 庁内の研修委員会で研修内容を検討している。今後検討したい。

問 スクールバス購入にあつて、4輪駆動車を検討すべきでは。

答 27年度購入予定車は4輪駆動車となっている。

問 酪農再興事業での草
地更新に対する助成
を増額すべきでは。

答 5年間の計画であり
総合的バランスでの
設定であり、今のままで行
きたい。

問 ニューホーム協議会
への増額の内容は。

答 前年度繰り越しによ
り変動するためによ
るものであり、例年どつり
の事業を計画している。

問 傷病時酪農ヘルパー
への助成を増額すべ
きでは。

答 農協との協議の上で
検討していきたい。

黒沼 俊幸 議員

問 公設民営化というこ
とで、本町に建設予
定の食肉加工センターの建
設予定地の取得はどのよう
になつてゐるのか。

答 まだ、諸問題が解決
していないので具体
的には進んでいない。

問 本町における和牛の
飼養数は約4800
頭となつてゐる。

何といつても優良和牛の
増頭が大事である、行政と
して方策を考えてゐるか。

答 和牛生産改良組合か
ら助成の要請がきた
が、予算が決まつていたの
で27年度については無理で
あると伝えた。

後藤 勲 議員

問 毎年行つてゐる総合
表彰は年々出席率が
少なくなつてきてゐる。内
容があまりにも質素ではな
いか。せつかくの表彰でも
あり、内容を今後改善する
考えはないか。

答 表彰審査委員会の意
見を参考に検討して
いきたい。

田中 敏文 議員

問 町有林の暴風雪被害
調査を早急にすべき。

答 かなりの被害がある
が、まだ確認がとれ
ていない。

保険等活用し適切な対処
を図りたい。

問 民間へのロータリー
除雪車2両を配備し
ては。



答 北海道が更新するも
のを、下取り価格で
払い下げ希望の申請をし
た。

問 町管理の橋の補修工
事には、町内業者の
特技を優先すべき。

答 地元業者で可能なと
ころも想定している。

鈴木 裕美 議員

問 家庭生ゴミ減量化
として、デイスポー
ザー設置に助成補助する
が、その経過と下水道に問
題がないか。

答 当時はデイスポー
ザー設置の場合、下
水道認可変更が必要だつ
た。現在、人口減等調査を
した結果、標茶地区の処理
区域での処理能力に問題が
ないことで認可が下りた。

問 特別学級支援員の役
割は何か。児童・生
徒個々の能力を伸ばす役割
ではないか。また、特別支
援学級への入学許可が遅い
と聞くが何故か。

答 校長・教頭・教師連
携のもと、基本的生
活習慣の介助等6点の役割
がある。

様々な状態の児童・生徒
がいて、特別学級の担任だ
けで指導ができないので支
援員がいる。
子供の状態で学校・支援
員の配置等体制が整つのに
3月になる。

問 ゴミ分別の仕方につ
いて釧路市の冊子が
解りやすい、参考にしては
どうか。

答 今回見直し中なので
釧路市のも参考にし
て検討する。